

佐賀地区「2 交替制反対」座り込み 2月7日



AM8:00 東佐賀支部：病院正門前で決起集会

11:00 佐賀病支部の病院前行動に参加しました。
……冷たい雨の中、道路沿いの歩道での行動は寒い!!にもかかわらず40人が傘をさしてリレートーク。

宣伝行動は3回計画されており、私が参加したのが2回目の宣伝行動でした。

昼食をいただいて再び東佐賀へ移動。

14:00 東佐賀・座り込みテントで再び座り込み。

すでに請願行動は始まっており、OBや地元支援者21人が参加しました。



PM5:30 東佐賀のテントはクイズにうたごえ、ほっこりと暖かです♪

8:00 東佐賀支部：病院前での早朝決起集会。

……勤務前の20数人を前に大橋支部長の第一声で一日の行動が始まりました。

9:30 座り込み開始です!

冷たい雨の中、テントを張り、三々五々職員、OBや地元の方、支援者が集まって来ました。常時40人以上がテントの中に座り込んでいました。

10:30 佐賀病支部へ移動。



AM11:30 佐賀病支部：病院前で宣伝行動

テント内では、楽しいリードでうたごえやクイズで楽しく座り込みを継続できました。

全国から届いたメッセージには感動の声があがりました。大分地区から4人、長崎地区から4人、熊本地区から1人が応援に駆けつけました。

16:00 請願行動から帰ってきた人の報告を受け、座り込み終結集会。

一日でのべ160人を超える人が参加しました。肥前支部20人、嬉野支部10数人の動員をしての行動に、長年の取り組みを通して地区全体での団結の強さを感じた一日でした。

(全医労本部・中丸副委員長手記)

医労連「夜勤改善・大幅増員をめざすシンポジウム」に245人が参加 翌国会要請行動では全国会議員に看護職員の実態を訴える



夜勤改善シンポジウム。東京・星陵会館にて

2月6日（木）日本医労連の「夜勤改善と大幅増員をめざすシンポジウム」、翌日の7日（金）には「国会議員要請行動」が行われました。

全医労からは地方協代表を含む15人が参加。シンポのパネリスト、フロアー発言の他、各県や全国組合の国会議員要請行動にも結集し奮闘しました。

看護師よ！怒れ！2014春闘を看護職員が 先頭になってたたかおう！

シンポは看護職員の労働実態調査結果報告と厚労省医政局の中野孝浩氏から医療分野の「雇用の質」向上プロジェクト報告とその後の運動についての講演、労働科学研究所の佐々木司氏から「看護師研究の動向と日本の看護労働対策の今後の展望」について講演を受けました。

その後、佐々木司氏、郵政産業ユニオン顧問の廣岡元穂氏、全医労柳井支部・山口県医労連委員長の中村鈴枝氏、北海道医労連副委員長の鈴木緑氏をパネリストにシンポを開催。全体で245人が参加し、私たちのめざす夜勤・看護のあり方を学び合い、今後の運動について意思統一を行いました。

中村さんからは「看護師として患者そして自分のいのちを守るため、みんなで力を合わせて問題を解決し、過酷な夜勤を何年もかけて改善させてきた」と自分の看護師人生と組合の運動について報告、看護の現場と平和の語り部として声をあげていくことで未来を作っていくと呼びかけました。また、フロアー発言では松山支部の大森はま子さんが（愛媛）四国がんセンターでの緩和ケア病棟の増員・夜勤改善を報告しました。



パネリストの一人
柳井支部の中村さん



フロアー発言
松山支部の大森さん

世論を広げ、安全・安心の医療と 輝いて働ける職場をつくろう

佐々木司氏からは「看護師の労働条件改善には、①勤務制度・夜勤人員の改善、②やらなければならないことを改善すること、③やらないことを決めることが必要。看護と看護労働は違う、過剰看護の見直しを」。廣岡氏からは「ILOなど国際基準を学び、日本の労働実態を見直そう。夜間労働者のたたかいは産別のガイドラインはあるが、日本全体の規制が求められている」と発言がありました。

最後に新・増員署名の更なる推進、賃上げ闘争、労働実態調査の結果で出た実態をもって県交渉実施など、2014春闘を看護師が先頭にたって運動を進めようとまとめの呼びかけがあり散会となりました。

翌日は白衣に着替えて国会議員要請行動へ。「もう辞めたい！」と悲痛な声が寄せられた労働実態調査の結果をもって、地元国会議員や秘書要請。「このままでは日本の医療・看護は崩壊してしまう。ぜひ署名の紹介議員になってほしい」と訴えました。



議員要請前の意思統一集会。
日本共産党の高橋ちづ子議員、
元看護師・倉林明子議員から
国会情勢報告も受けました。